

指名競争入札

<メリット>

1. 施工能力のある業者をあらかじめ選択できる
2. 地域性等の工事にあった業者を選択できる
3. 地域に密着した業者が施工する結果、住民とのトラブル防止にも有効
4. 地域の特性を熟知した業者が施工する結果、高品質で経費も

<デメリット>

1. 談合の温床になり易い → 指名業者を非公開にする・ペナルティの強化
2. 指名に行政の恣意性が働き公平性を阻害する場合がある → 審査委員会で審査・具体的な指名理由をHP上で公開する

少額工事

1. 地域生活に密着した工事の場合には入札から引渡までなるべく短期間が望ましい
2. 少額工事で長期間要することは採算性・現場代理人等の面で問題が多くなる → 技術力、監理能力の高い業者の応札が減少する結果、品質確保に懸念が生ずる
☆現場代理人は常駐が求められている

21日間は重要

1. 落札後設計図書に基づき準備工に着手し、起工測量をして丁張をする。中には設計図書と不符号点が出る場合もあり施工計画・工程表を変更し契約書も変更になることもある。これらに約2週間から3週間から要することから少額工事ではこの21日の差は重要である。

